



富労発基 1116 第3号の1
令和3年11月16日

各労働災害防止団体の長 殿

富山労働局長



「令和3年度（強化版）冬季無災害運動」の実施について

晩秋の候、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、富山労働局の行政運営に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、県内においては、冬季（12月から翌年2月までの3か月間をいう。以下同じ。）に降積雪や凍結に起因する労働災害が多く発生しているところであり、令和2年12月から令和3年2月までの休業4日以上死傷者数につきましては、327人（対前年同期比57人増）となり、近年では大雪となった平成29年度の406人に次ぐ被災者数となったところです。降雪量の増加や気温の低下によって労働災害が多発していることから、冬季の気象状況によっては労働災害の多発が危惧されます。

また、過去10年の冬季における労働災害死傷者数のうち、転倒災害による死傷者がその39%を占めていることから、これに対する対策を講じることも必要です。

これらのことから、当局においては別添のとおり「令和3年度（強化版）冬季無災害運動実施要綱」（以下「実施要綱」という。）を策定し、期間中の労働災害防止対策の徹底を図ることといたしました。

つきましては、これから冬季を迎えるに当たり、貴団体におかれましても「実施要綱」に御留意の上、冬季における労働災害防止対策の徹底につきまして傘下会員に周知いただきますようお願い申し上げます。

令和3年度（強化版）冬季無災害運動実施要綱

令和3年11月16日
富山労働局

1 目的

富山県内においては、冬季（12月から翌年2月までの3か月間をいう。以下同じ。）に降積雪があることや気温が氷点下となるなど地域特有の労働災害のリスクが高まる状況にある。

令和2年12月から令和3年2月までの休業4日以上労働災害死傷者数（以下「死傷者数」という。）は327人で、前年同期の270人に比べ57人（21%）の大幅な増加となり、大雪となった平成29年度の死傷者数406人に次ぐ死傷者数となったところであり、降雪量の増加や気温の低下によって労働災害が多発していることから、冬季の気象状況によっては労働災害の多発が危惧される。

また、過去10年の冬季における労働災害死傷者数のうち、転倒災害による死傷者数は39%を占めており、これに対する対策が必要であると認められることから、当局では以下のとおり「冬季無災害運動」を強化版として実施する。

2 取組期間

令和3年12月1日（水）から令和4年2月28日（月）までの90日間とする。

3 主唱者

富山労働局、富山・高岡・魚津・砺波の各労働基準監督署

4 実施者

全業種の事業者

5 主唱者の実施事項

- （1）労働災害防止団体に対する協力要請
- （2）集団指導及び監督、個別指導時の指導
- （3）ポスター等の作成、配付
- （4）ホームページによる広報

6 事業者の実施事項

- （1）事前の大雪や低温などの気象情報、交通情報の把握及び関係者への周知徹底
- （2）凍結・積雪による「転倒」災害防止対策の徹底
- （3）屋根などの雪降し作業中の「墜落・転落」災害防止対策の徹底
- （4）除雪車・除雪機による「はさまれ・巻き込まれ」災害防止対策の徹底
- （5）車等のスリップによる「交通事故」防止対策の徹底